市指定文化財<史跡>

袈裟尾山北福寺（けさおざんほっぷくじ）

指定日　昭和41年4月15日

所在地　菊池市袈裟尾

当寺は『肥後国誌』に「弘仁四年（813）伝教大師ノ草創　初メ永福寺ト号シ　天台ノ教刹ニテ十二坊アリ」と記されている。当時は上宮が中堂より一里余り北東の永尾坂にあり、伝教大師自作の大日如来が安置され、鎮守には山王七社を勧請、中堂には薬師仏と十二神の彫刻があり、神仏習合時代の様子が残る。山下には万福坊はじめ12坊が配されていた。勅命で「寺領壱千石、祈祷料千貫文」を賜ったが、一時廃寺となる。

10代武房によって再興され、15代武光が菊池五山を定めたときに北福寺と改称され、その一寺となった。その後、21代重朝の頃には江月山玉祥禅寺の末寺となる。

『古塔調査録』には「今僅カノ草庵トナル、此ノ四隣ノ田畑・山林中ニ古塔ノ残リテ散在スルヲ見レバ、古ハ大寺ナルコトヲ知ル可シ」とある。

『菊池郡誌』によれば、菊池33霊場の18番札所になる。